

札内川ダムで「かわたび」コーヒーの貯蔵・熟成実験を開始！

～ダム施設内へのコーヒー豆の搬入を公開します～

帯広河川事務所では、ダムを活用した地域振興の一環として、地域の事業者の協力を得て、施設内の空間で飲料品等を貯蔵・熟成する実験を行います。

今般、取組の第1弾として、コーヒー豆の熟成（生豆による長期熟成、焙煎豆による短期熟成）を行います。実験開始に当たり、貯蔵するコーヒー豆のダム施設内への搬入を、報道機関のみなさまに公開します。

実験概要

- 実験の目的：ダム施設内のトンネル等を活用して飲料品等の貯蔵を行い、熟成効果や地域性の商品開発の可能性・効果等を検証すること
- 実験の期間：令和5年3月31日までの1年間（その後、必要に応じて延長）
- 貯蔵品目：事業者の提案・申込みに応じて実施（地域振興に資するものを原則とする）

第1弾（コーヒー豆）の概要 及び 公開する搬入作業

- 貯蔵品目：コーヒー豆（生豆：長期熟成用 及び 焙煎豆：短期熟成用）
- 搬入箇所：ダム内部（ダムギャラリー）を予定
- 参加事業者：トカプコーヒー（中札内村）、ハレノヒ珈琲（中札内村）、MayCoffee（中札内村）、カシオペイアコーヒー店（音更町）
- 搬入日時：令和4年3月29日（火）11：00より作業開始
- 取材募集：取材を希望する場合は、3月28日（月）12：00までに、下記の問合せ先までお申込みください。（所属、氏名、車両情報）
当日は、10：40までに、道道111号のピョウタンゲート（ピョウタンの滝付近）にお集まりください。時間になりましたら、職員がご案内します。
- その他：搬入作業をご覧いただく他、実験概要、ダム概要の説明、参加事業者に提供いただく豆を用いたコーヒーの試飲を予定しています。

